

village

2019年5月18日(SAT)~19日(SUN)
OPEN.10:00~17:00

villageへ、ようこそ。

ものづくりをする人をつなげたい。
一人とのつながり、モノや食、音を通して-をテーマに、高知を中心に活動する陶芸、木工、ガラス、金属、皮革、イラスト、活版印刷など幅広い分野の雑貨・アート作品の販売のほか、おいしい食べ物の出店がところ狭しと並びます。
2日の間、ライブステージや、ワークショップも。イベント盛りだくさん「village」へぜひ遊びにきてください!

...craft ...shop ...food

「village」は、有志で開催しています。来年も引き続き開催していくため募金にご協力をお願いします。募金箱は本部に設置しております。

- 場内は禁煙です。
- ゴミはお持ち帰りください。
- 路上駐車は厳禁です。

※店舗の配置は変更になる場合もあります



MUSIC LIVE

会場：鷹匠公園ステージ
当日のタイムテーブルはvillageのWEBをごらんください

杉瀬ようこ
母の様に包み込む暖かさ、少年の様に無垢な力強さ。一見相反する要素を絶妙に併せ持つ独特な歌声は、一声で観客をノスタルジックな世界に引き込み、叙情的な歌詞は、それぞれの心象風景を目前に描き出す。多岐に渡る音楽ジャンルの経験を経て産み出される楽曲はバラエティに富み、聴きることなく楽しませてくれる。

ハナカタマサキ
多数の楽器を駆使する宅録音楽家。作詞、作曲、演奏、アレンジ、レコーディング、ミキシング、アートワークまでひとりで手がける。2014年1stアルバム「Lentiment」を発表し、翌年ロンドンのインディーレーベルより同アルバムをリリース。2019年3月に3年分の制作期間を費やした2ndアルバム「MARVEL」をリリース。8月31日(土)にはリリースツアー最終日を納蔵で行う。

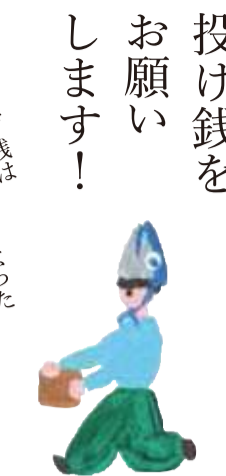
mojoco
國部信教 (Vocal-Guitar), 松井有司 (Bass), paul (Drums) の3人組バンド。2006年 高知にて結成。2008年9月、1st mini album「日曜の朝、黒に染まる夜」、2009年3月、1st full album「だからゆくのき」をリリース。メンバー脱退、活動休止期間を経て、2016年12月、結成時メンバーでの再開。現在は地元高知を中心に活動している。

リュクサンブール公園
1998年結成。大野を拠点にメンバーそれぞれ独自の活動をしながら、頻りに集まってゆるやかな音楽を奏でる。メロウでポップなオリジナル楽曲は独特の世界観を中心に、あたかなアコーディオンの音色がほんわかも風景も響いていく。

「ヴィレッジモノと食 音が奏でる土日市」は、主に高知県内で活動している各種工芸など「ものづくり」の作家や国内外から参加いただいた個性豊かな工芸品や古道具などを取り扱うショップ、素材や調理方法にこだわりを持っている飲食店などを一堂に集め、発表と交流の場を提供しようとするイベントです。約80店舗が参加した2013年5月の第1回ではのべ1万人の来場者があり、第2回以降は現在の鏡川・みどりの広場に場所を移し、毎回3万前後の来場者におこしいだいています。

villageの思い
近年、繊細で質の高い個人作家さんの作品発表の場となる「クラフトフェア」が全国各地で開催され、その人気は高まる一方です。四国でも手づくり市やフリーマーケットのようなものはたくさんありますが、本格的なものは少なく作家さんたちの発表の場は限られている状況です。そうした中、全国規模のクラフトフェアを目指して私たちは「ヴィレッジ」を立ち上げました。自営業率全国一位を誇る高知県には数多くの工芸作家があり、近年では全国から高知に移住して作家活動を行う若手作家も増えてきています。高知県の個性的な作家のなかには、既に他県のクラフトフェア等でも活躍し、全国的に人気を集めている方も多く存在しています。

villageは市民主体の非営利イベントです
市民主体の実行委員会方式で運営しています。参加者の皆さんたちと同様に、個々に活動している作家や店舗経営者の有志で構成され、その開催のための費用は各出店者の出店料だけで賄っています。これからも、小さな輪が徐々に広がりを見せていることを望んでいます。



villageのサイト





village

2019 5.18 SAT ~ 19 SUN
OPEN.10:00~17:00



仮設トイレはみどりの広場(東/西)にあります。スタッフが管理清掃もこなしているのですが、きれいに使ってもらえるとありがたいです。トイレ募金はトイレの設置費や消耗品費に活用しています。